

地元金融機関調査資料

2018年8月

調査レポート名	概要（一部抜粋）																								
百五経済研究所 「地域経済レポート」 2018年7月	<p>【三重県経済の動向】</p> <p>〈現在の景気〉 緩やかに回復している。個人消費は持ち直しの動きが一服したものの、生産は回復、雇用は高水準で推移。</p> <p>〈当面の見通し〉 緩やかな回復が続く。生産の回復、設備投資のさらなる持ち直しが期待されるなか、雇用は高水準を維持し、所得環境の改善が期待される。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>動向</th> <th>コメント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人消費</td> <td>持ち直しの動きが一服</td> <td>5月のコンビニ販売額（速報）は1.1%減で4か月ぶりの減少。</td> </tr> <tr> <td>住宅建築</td> <td>足踏み</td> <td>5月の住宅着工戸数は、前年比8.0%減で2か月ぶりの減少。床面積（△9.6%）は6か月連続の減少。</td> </tr> <tr> <td>設備投資</td> <td>持ち直し</td> <td>5月の建築物着工床面積（非居住用）は、前年比12.6%減で3か月ぶりの減少、3か月後方移動平均では4か月ぶりの増加。</td> </tr> <tr> <td>公共工事</td> <td>横ばい</td> <td>6月の公共工事請負件数は前年比6.7%減で9か月ぶりの減少。請負額は34.6%減で3か月ぶりの減少。</td> </tr> <tr> <td>輸出入</td> <td>輸出は一進一退、輸入は上向き傾向</td> <td>5月の県内2港（四日市港（尾鷲通関分含む）+津港）の通関輸出額（速報）は、前年比23.3%増で4か月ぶりの増加。</td> </tr> <tr> <td>生産活動</td> <td>回復</td> <td>4月の鉱工業生産指数（季調済）は生産用機械、情報通信機械、業務用機械などで低下したが、輸送機械、電子部品・デバイス、金属製品などが上昇。</td> </tr> <tr> <td>雇用情勢</td> <td>高水準続く</td> <td>5月の有効求人倍率（季調済）は1.69倍で、前月比0.04ポイント低下したものの、60か月連続で1倍を超え、全国を大きく上回って推移。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	動向	コメント	個人消費	持ち直しの動きが一服	5月のコンビニ販売額（速報）は1.1%減で4か月ぶりの減少。	住宅建築	足踏み	5月の住宅着工戸数は、前年比8.0%減で2か月ぶりの減少。床面積（△9.6%）は6か月連続の減少。	設備投資	持ち直し	5月の建築物着工床面積（非居住用）は、前年比12.6%減で3か月ぶりの減少、3か月後方移動平均では4か月ぶりの増加。	公共工事	横ばい	6月の公共工事請負件数は前年比6.7%減で9か月ぶりの減少。請負額は34.6%減で3か月ぶりの減少。	輸出入	輸出は一進一退、輸入は上向き傾向	5月の県内2港（四日市港（尾鷲通関分含む）+津港）の通関輸出額（速報）は、前年比23.3%増で4か月ぶりの増加。	生産活動	回復	4月の鉱工業生産指数（季調済）は生産用機械、情報通信機械、業務用機械などで低下したが、輸送機械、電子部品・デバイス、金属製品などが上昇。	雇用情勢	高水準続く	5月の有効求人倍率（季調済）は1.69倍で、前月比0.04ポイント低下したものの、60か月連続で1倍を超え、全国を大きく上回って推移。
項目	動向	コメント																							
個人消費	持ち直しの動きが一服	5月のコンビニ販売額（速報）は1.1%減で4か月ぶりの減少。																							
住宅建築	足踏み	5月の住宅着工戸数は、前年比8.0%減で2か月ぶりの減少。床面積（△9.6%）は6か月連続の減少。																							
設備投資	持ち直し	5月の建築物着工床面積（非居住用）は、前年比12.6%減で3か月ぶりの減少、3か月後方移動平均では4か月ぶりの増加。																							
公共工事	横ばい	6月の公共工事請負件数は前年比6.7%減で9か月ぶりの減少。請負額は34.6%減で3か月ぶりの減少。																							
輸出入	輸出は一進一退、輸入は上向き傾向	5月の県内2港（四日市港（尾鷲通関分含む）+津港）の通関輸出額（速報）は、前年比23.3%増で4か月ぶりの増加。																							
生産活動	回復	4月の鉱工業生産指数（季調済）は生産用機械、情報通信機械、業務用機械などで低下したが、輸送機械、電子部品・デバイス、金属製品などが上昇。																							
雇用情勢	高水準続く	5月の有効求人倍率（季調済）は1.69倍で、前月比0.04ポイント低下したものの、60か月連続で1倍を超え、全国を大きく上回って推移。																							

調査レポート名	「商店街の現状とこれからの在り方～地域活性化に貢献する商店街になるための方法～」より																		
三重銀総研 「調査レポート」 No. 93 2018年7月	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>図表11 普段買い物をする場所（街頭調査、2010年）</p> <table border="1"> <caption>図表11 普段買い物をする場所（街頭調査、2010年）</caption> <thead> <tr> <th>店舗タイプ</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>中小小売店</td><td>0.3</td></tr> <tr><td>中型スーパーマーケット</td><td>8.5</td></tr> <tr><td>大型専門店</td><td>61.0</td></tr> <tr><td>大型店</td><td>66.7</td></tr> <tr><td>コンビニエンスストア</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>宅配販売</td><td>10.8</td></tr> <tr><td>通信販売</td><td>0.4</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0.2</td></tr> </tbody> </table> <p>（資料）三重県「買物調査報告書」 （注）店舗の類型は以下の通り。 中小小売店：一般商店（店舗面積300㎡未満） 大型専門店：家電専門店等の単体大型専門店 大型店：大型のスーパーマーケット、ショッピングセンター、百貨店（店舗面積1,000㎡超） 宅配販売：食品等の生活必需品の宅配販売</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>図表12 三重県の食品アクセス困難人口の割合（2015年）</p> <p>（資料）農林水産政策研究所「食品アクセスマップ」 （注1）アクセス困難人口とは、店舗まで500m以上かつ自動車を利用できない65歳以上の高齢者を指す。店舗は、生鮮食品販売店舗、百貨店、総合スーパー、食料品スーパー、コンビニエンスストア。 （注2）アクセス困難人口の割合は、以下の通り。 左図：65歳以上人口全体に占めるアクセス困難人口の割合 右図：75歳以上人口全体に占める75歳以上アクセス困難人口の割合</p> </div> </div>	店舗タイプ	割合 (%)	中小小売店	0.3	中型スーパーマーケット	8.5	大型専門店	61.0	大型店	66.7	コンビニエンスストア	0.2	宅配販売	10.8	通信販売	0.4	その他	0.2
店舗タイプ	割合 (%)																		
中小小売店	0.3																		
中型スーパーマーケット	8.5																		
大型専門店	61.0																		
大型店	66.7																		
コンビニエンスストア	0.2																		
宅配販売	10.8																		
通信販売	0.4																		
その他	0.2																		

調査レポート名	三重県全体状況について	北部 北勢・伊賀の業況
三重県信用金庫協会 「三重県しんきんレポート」 vol. 22 2018年7月	<p>●雇用（ピト） 人手過不足判断D-Iは▲48.2（マイナスは人手「不足」超）と、前期比プラス6.4ポイントで5期ぶりに改善するも、高水準の人手不足が続いている。</p> <p>●設備投資（モノ） 設備投資実施企業割合は34.3%と、前期比0.0ポイントの横ばいで推移している。</p> <p>●資金繰り（カネ） 資金繰り判断D-Iは0.9と前期比3.7ポイント改善し、過去15年の調査の中で初めてプラスに転じた。</p>	<p>●直近の業況 2018年4月～6月期の三重県北部の業況判断D-I（実績）は2.6と、前期比▲10.7ポイントの大幅な悪化となった。業種別では、小売業のみ改善し、製造業とサービス業は横ばい、建設業、卸売業、不動産業で悪化となった。</p> <p>●来期の見通し 2018年7月～9月期の三重県北部の業況判断D-I（予想）は2.6で、当期比0.0ポイントで横ばいの予想である。業種別では、不動産業、製造業、サービス業で改善し、卸売業は横ばい、小売業、建設業で悪化の予想である。</p>